

■JaSST'12 Tokyo テスト設計コンテスト 募集要項■

■JaSST'12 Tokyo テスト設計コンテストについて

テスト設計の重要性は広く知られるようになりましたが、テスト設計技術や手法を使いこなすのは難しく、悩みや課題は尽きません。そのような悩みや課題に対し、テスト設計者は様々な工夫をこらしています。その工夫は広く共有し、様々な意見を得ることで、更に進化していきます。しかしながら、多くの工夫や技術は世に知られることもないまま、埋もれていることが多く、進化を遂げる機会を失っています。

このような課題を解決すべく、JaSST'11 Tokyo では、ソフトウェアテスト技術の向上と促進の機会を提供する場として、テスト設計コンテストを開催しました。コンテストでは、多くのテスト技術者が互いにテスト設計のノウハウやテスト設計の実例などの成果物を公開／共有し、多くの好評をいただきました。また、前回の優勝チーム「めいしゅ館」殿は、CEDEC2011 を始め数々の勉強会などを通じて、活躍の場を徐々に広げています。

そこで、JaSST'12 Tokyo におきましてもテスト設計コンテストを開催する運びとなりました。今回は、全国から精鋭が集い、その腕を競います。そして今回もテスト界の有識者をお招きし、発表頂いた作品の注目すべき点など、講評と解説を頂く予定であります。

また、今回は JaSST の活動 10 周年ということもあり、発表者 1 名について、シンポジウム参加費が 2 日間無料となります。

我こそはと思われる方、テスト設計の腕に覚えのある方、独自のテスト設計手法をお持ちの方、是非この機会に腕試しをしてみませんか？

また、噂のスゴ腕をご存知の方は、是非コンテストへの出場を勧めていただけませんか？

皆様からの多数のエントリーをお待ちしております。

■応募資格

すべての提出物(テスト設計成果物および発表スライド)の公開を許諾していただけること

2012/1/25-26(水、木)開催のシンポジウムにて、登壇発表が可能であること

※チームで応募される場合、発表者は 1 名に限定させていただきます。

※個人、法人、チームは問いません。エントリーナーにハンドルネームの使用ができます。

■募集内容

◆テストベース

NPO 法人 組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会 (SESSAME)

「[話題沸騰ポット要求仕様書 \(GOMA-1015 型\) 第7版](#)」

<http://www.sessame.jp/>

→左メニューから 話題沸騰ポット要求仕様書 を選択してください

◆提出物

● 成果物1：テスト設計の最終成果物

例)

テスト設計仕様(用語の意味は JSTQB 用語集 v2.0.J02.pdf[*1]を参照)

*1: <http://jstqb.jp/syllabus.html>

なお、テストレベルについてはインプットから作成できるものを想定とすること

- 成果物2：テストベースからテスト設計の最終成果物までの流れが見える成果物
例)

PFD(Process Flow Diagram)、テストの業務を流れ図で表したもの、テストのドキュメントを流れ図で表したものなど

- 成果物3：テスト設計に関わる成果物一式

例)

リスト(FV表[*1])、ダイアグラム(NGT[*2]、マインドマップ)、マトリクス(ゆもつよマトリクス[*3])

*1: <http://jasst.jp/archives/jasst09e/pdf/A7-2.pdf> P4

*2: <http://jasst.jp/archives/jasst09e/pdf/A7-6.pdf> P4

*3: <http://jasst.jp/archives/jasst09e/pdf/A7-8.pdf> P12

- 予稿集用資料：

A4横18ページ以内、パワーポイント(もしくはPDF形式)

当日発表用資料と同等のもの

(「成果物2の説明」と「工夫したポイント」の2点をなるべく含めた内容)

- JaSST'12 Tokyo 当日フロア掲示用資料：A4横8ページ

提出いただくテスト設計成果物および発表資料につきましては、当日パネル展示を行います。

発表資料につきましては、予稿集および開催後JaSSTのWebサイトに掲載いたします。

なお、提出いただいた後、事前選考の上12/下旬までに選考結果を通知いたします。

■審査基準

昨年の基準[*1]をもとに、以下とする。

テストすべきこと(テスト観点)がきちんと盛り込まれているか

全体像やスコープが把握しやすいか

一貫性や論理性が保たれており、理解しやすいか

将来的な拡張や派生、保守、後継などへの考慮はされているか

テスト実行への考慮はされているか

なお、独自性が高いものや発想が豊かであると判断したものは上記観点以外に加点対象とする。

*1: <http://jasst.jp/archives/jasst11e/pdf/A5-1-2.pdf>

■募集日程

2011/12/2(金)	コンテスト募集締切
2011/12/9(金)	すべての提出資料の提出締切
2011/12/下旬	出場チーム決定
2012/1/25-26(水、木)	シンポジウム開催

■お問い合わせ先

テスト設計コンテストに関するお問い合わせやご連絡につきましては下記まで電子メールでお願いいたします。

JaSST'12 Tokyo テスト設計コンテスト担当

E-mail: jasst.tdc@gmail.com